

胆振獣医師会産業動物（馬）講習会の開催報告

令和7年10月29日に苫小牧市日胆農業会館において、胆振獣医師会主催、北海道家畜畜産物衛生指導協会、全国公営競馬獣医師協会後援による令和7年度産業動物（馬）講習会が開催されました。講習会のテーマは「馬の繁殖」で、内容は以下の通りでした。



「ヒートストレス下のラストチャンスエンブリオ」

ゲーエンブリオテクノロジー 浦川真実 先生

「見過ごされやすい不妊の原因と治療」

イノウエホースクリニック 井上裕士 先生

「馬の生殖補助医療技術と国内軽種馬産業の接点」

帯広畜産大学 南保泰雄 先生

「馬のジノプロスト（PGF2α）による発情回帰成績」

NOSAI 北海道日高支所 日高中部家畜診療所 小笠原慶 先生

「種馬所における交配および受胎率に関する知見」

社台スタリオン 登石裕子 先生

「後部生殖器の外科的疾患」

社台ホースクリニック 田上正幸 先生

6名の講師の先生と約80名の参加者で開催されました。馬の繁殖は馬産の根幹であり、この分野を牽引する先生方からはサラブレッドの繁殖技術および不妊の診断と治療に加え、乗馬の人工授精や木曽馬の胚移植の成果について講演されました。また、牛のET技術は馬とは比較にならない実績があり、浦川先生から牛の胚移植についてその取り組みの詳細とテクニックを講演いただきました。QRコードより視聴申し込みをしていたと、当日の講演動画アーカイブを視聴できます。



お忙しい中にご参加いただいた皆様、ご協力いただきました皆様に感謝いたします。来年も多くの方々に興味を持っていただく内容を企画いたしますので、よろしくお願いいたします。

視聴申し込み URL : <https://forms.gle/snjVMfQGdTGydK1h6>



(北獣胆振支部 加藤 史樹 記)